

# 虫歯のメカニズムと治療



虫歯は自然に治ることはありません。治療を受けないと必ず進行していきます。前歯は顔の印象にも大きく影響を与えますので、『虫歯で黒い歯』は困りますね。早く治療しましょう。

## 虫歯のメカニズム

ものを食べると、口の中には食べカスがどうしても残ります。口の中にいる細菌(ミュータンス菌)がこの食べカスを元にして、ネバネバしたノリのようなものを作り出します。これが歯垢(プラーク)と呼ばれるものです。砂糖などの糖分を多く含む食べカスは、特に細菌に好まれます。この歯垢の中で糖分が分解されて酸や毒素を作りだし、歯を溶かしてしまうのです。

## 虫歯のはじまりに注意

歯の表面が、チョークのように白く濁ってきたら虫歯のはじまりです。歯垢(プラーク)の蓄積は、歯茎の炎症も引き起こします。歯茎が赤く腫れたり、歯ブラシを使うと出血することになります。歯の裏に歯石が沈着することもあります。

## 虫歯の進行段階と治療

虫歯の症状は、一般的に「C0」～「C4」という段階に分けて呼ばれます。「C」とは「カリエス(=虫歯)」の頭文字です。症状や虫歯の場所、医院によって治療法は異なります。

**C0の段階**・・・虫歯は歯の表面からカルシウム等の無機成分が溶け出すことから始まります。C0(シーゼロ)というのは少し無機成分が溶け出している面があるということです。黒くなったり、穴があるというところまでは進んでいません。

### 治療方法

この段階では、元の歯の状態に戻すことも可能です。歯科衛生士に指導を受け、あなたに合ったいい歯みがきをしてください。

- ・フッ素を使って歯みがきをする
- ・歯科医院でのフッ素塗布

**C1の段階**・・・エナメル質(歯のいちばん固い外側の部分)が細菌に溶かされはじめます。エナメル質には神経がないので痛みなどはありません。自覚症状がないのでこの段階で見つけるのは困難ですが、定期的に歯医者さんへ歯石をとりに行けば見つけることは可能です。

### 主な症状

- ・歯の表面に艶がない
- ・薄い茶褐色になる

### 治療方法

- 虫歯の部分だけを削って、つめものをするか、かぶせものを作ります。
- ・つめもの(インレー)
- ・クラウン(神経が生きている場合のクラウン)

### 治療に用いる材料

- ・コンポジットレジン
- ・硬質レジン

**C2の段階**・・・細菌が象牙質(エナメル質の次にある部分。歯の神経を守る壁)にまで達しています。穴があき、黒っぽくなって見ためにわかるようになります。

### 主な症状

- ・穴があく
- ・茶褐色から黒っぽくなる
- ・冷たいもの、熱いもの、すっぱいものがしみる

### 治療方法

- 虫歯の部分だけを削って、つめものをするか、かぶせものを作ります。
- ・つめもの(インレー)
- ・クラウン(神経が生きている場合のクラウン)

**C3の段階**・・・神経(歯髄)に虫歯が達しています。どんどん痛みがひどくなってきます。猛烈に痛いのでどこが痛いのかもわからなくなって、麻酔もききづらくなります(急性歯髄炎)。しかし、治療を受けずにほおっておくと痛みがとまることがあります。神経が死んで感覚がなくなってくるからで(根尖性歯周炎)。

### 主な症状

- ・大きな穴があく
- ・ズキズキと刺すような痛みがある
- ・膿がでる
- ・歯が割れることがある

### 治療方法

- 歯ぐきから上の歯が崩れ、冠をかぶせられる程の大きさが残っておらず、歯の神経も死んでしまった場合、残った歯の根を利用して芯を立て、その上に冠をかぶせます。
- ・クラウン(神経が死んでいる場合のクラウン)

**C4の段階**・・・穴がどんどん広がって、歯がほとんどない状態。歯根だけが残ります。神経(歯髄)が死んで腐敗し、膿みが出て悪臭がします。歯根の先やまわりにまで炎症がおよび、歯茎の中の骨が溶けて、さらに痛みが起り熱が出ることもあります。

### 主な症状

- ・膿がでる
- ・口臭が強い
- ・歯茎、ほお、アゴ、リンパ腺が腫れる
- ・物が噛めないくらい痛い



### 治療方法

- ここまできたら歯を抜くしかありません。まれに歯根の状態がよいと、歯根を残し義歯をかぶせることもあります。
- ・ブリッジ(固定式入れ歯)
- ・義歯(取り外し式入れ歯)
- ・インプラント